



第2図 冬の平均地上気圧分布図。(A)北半球1月,(B)南半球7月。

には強制プラネタリー波が弱いこと, などから平均西風が強く, 結局, 第2図Bのような状況が生じているわけです。

廣田 勇 (京都大学理学部)

#### 文 献

- 坂本篤造, 1983: 季節による違いを主眼とした地球大気海面平均気圧, 東京管区地方気象研究會誌, No. 16, 93-94.  
 廣田 勇, 1987: 譬え話あれこれ, 天気, 34, 603-610.

### 国際学術研究集会への出席補助金受領候補者の募集のお知らせ

国際学術交流事業(天気32巻5号参照)の一環として, 国際学術研究集会への出席の旅費もしくは滞在費の補助を下記により行いますので, 希望者は期日までに応募願います

#### 記

#### 1. 対象の集会

A: 昭和63年6月1日~11月30日および

B: 昭和63年12月1日~昭和64年5月31日

の期間外国で開かれる国際学術研究集会

#### 2. 応募資格

日本気象学会会員で国際学術研究集会に出席し論文の発表もしくは議事の進行に携わる予定のもの。

#### 3. 募集人員

1987年12月

若干名

#### 4. 補助金額

年総額 40万円(昭和62年度予算額)

#### 5. 応募手続

所定の申請書類(日本気象学会事務局備付)を期日までに国際学術交流委員会(東京都千代田区大手町1-3, 〒100 気象庁内日本気象学会気付)に提出する。大学院生は指導教官の推薦状を併せて提出する。

期日: A 昭和63年2月28日

B 昭和63年8月31日

#### 6. 補助金受領者の選考・義務

国際学術交流基金運用の方針に基づいて行う。